

職員の皆さんへ

灼熱の太陽がまぶしく暑い日差しが降り注ぐ夏の到来です。連日「熱中症」に関する報道もあり、市民の皆様、とりわけ高齢者世帯への健康管理・水分補給に関する注意喚起を徹底しなければならないと実感しております。

去る7月12日より降り続いた局地的豪雨による被害は市内各地に及び、特に南部地区や生月サンセットウェイなどの早急な復旧が望まれるところです。昨今の異常気象傾向は、これまでの予想を上回る規模で私たちの生活環境を脅かしていますので、今月も台風の襲来など気象情報の収集発信など「備えあれば憂いなし」の態勢を徹底しなければなりません。

これに加えて先月は、市内の高齢者を騙す「振り込め詐欺」事件が2件発生しました。優しい親心を利用した悪質な犯行であり、決して許されるものではありません。本日、平戸警察署との間で「高齢者総合対策ネットワークに関する協定」を締結いたしますが、このことにより今までよりも行政機関相互の綿密な情報共有を図り、安心安全な地域づくりに邁進していきたいと考えています。

さて、夏は平戸の魅力を一層引き立たせてくれる季節です。美しい海を舞台として壮大な自然景観、そして各地で受け継がれてきた各種伝統芸能は、多くの観光客や帰省客をお迎えして、世代を超えた楽しい思い出づくりに寄与するものと期待しています。

JTB九州さんのご協力により今年も「指令～平戸を遊びつくせ！」というアクティビティイベントが行われますが、さらに内容が充実されエキサイティングなものが追加されています。こうした取り組みが多くの利用者に親しまれることによって「夏は平戸で過ごそう」という嗜好が定着し、地域の活力につながるものと期待できます。

また今週末の「平戸港夏まつり」を皮切りに、各地で大小さまざまな夏まつりが実施されますが、こうしたイベントは交流人口増大による経済活性化はもちろんのことですが、運営スタッフ同士の相互連携に大きな効果を発揮します。

熊本地震で被災された方々を収容している避難所では、日頃から住民の結びつきが緊密であった場所において円滑な支援体制ができていたとの報告を受けました。このように毎年の夏まつり関連イベントで、地域の役割分担が明確になりそれが定着することで、もしもの時にその「阿吽の呼吸」を発揮することのできている良い実例ではないでしょうか。

私は、7月に先行して行われた地域の夏まつりにも出席しましたが、その地元に住居する職員有志が運営スタッフとして頑張っている姿に頼もしさを感じました。そうした日頃の連携と地元貢献が、相互信頼を加速するよりよい地域づくりに寄与することは明らかです。そこには「やらされ感」は微塵ほども感じ

られず、「楽しいことは率先してやろう」という原動力が住民エネルギーを守り立てていました。日常業務もかくありたいものです。

安倍総理大臣は、先月 27 日、福岡市で開催された「一億層活躍・地方創生全国大会 in 九州」に出席され、新たに 28 兆円規模の経済対策を実施することを発表されました。その基本的な方向性は、この経済対策が「未来への投資」と位置づけられており、景気の回復基調を確かなものにする狙いがあります。特に、こうした全国大会を九州で開催した背景には、熊本地震の復興を目指したイニシアティブはもちろん、「地方こそが経済活性化の主役であるべき」だという考えにほかなりません。

私たちが現在進めている平戸市総合戦略をより加速化し、実践と実績を積み重ねていくことが重要です。そして、時代に応じて顕在化する諸課題についても、従来の縦割り発想ではなく、現場からの視点を基本に柔軟に対応していく姿勢が大切です。それでもこれからの新しい時代には、それ相応の「政治的判断」が不可欠であり、そんな時にこそ皆さんのこれまでの経験を活かしてそれぞれの立場で思い切った英断と底力を発揮すれば、そこを土台に「未来への道筋」を踏み出す一歩になるのではないのでしょうか。「地方創生」という言葉が単なる掛け声に留まるかどうかは、まさに私たちの意欲と実践にかかっているのです。夏の日差しに負けないように心を熱く、しかし頭はクールに頑張りましょう。

さて、久しぶりにお盆で帰省されるご親戚やご友人と、最近の平戸市の元気な様子について、ぜひ意見交換をしてください。ふるさと納税日本一の快挙はもちろん、世界遺産登録の国内推薦決定や、根獅子町で発掘された弥生時代の人骨のことなど、ニュースに取り上げられることがますます増えており、話題に事欠きません。「西の端でもこれだけやれるんだ」という自信と誇りを共有し、さらなる平戸市の力強い応援団になっていただけるよう、またそれぞれの立場で平戸市への期待やご提案などを広く見定め聞きとめていただきたいと思います。そしてほどなく迎える 8 月 15 日の県民祈りの日には、市民がこぞって「不戦の誓い」を新たにして世界の恒久平和実現のための祈りを捧げましょう。

いずれにしても、何を成し遂げるにも健康第一です。

どうか夏バテなどにならないように気を付けられ、この暑い夏をご家族とともにお元気で有意義にお過ごしいただければと心から願っています。

引きつづき職員皆様のご努力に期待します。

平成 28 年 8 月 1 日

平戸市長 黒田 成彦